

◆ 講習会 ◆ 「第6回ユーザーのための実用固液分離技術」

膜濾過プロセスの基礎と応用

～技術課題とエンジニアリング～

主催：分離技術会

協賛：化学工学会分離プロセス部会、日本液体清澄化技術工業会、膜分離技術振興協会、造水促進センター

日時：2019年3月1日(金) 10:20～17:00

場所：日本大学理工学部（御茶ノ水）1号館4階141教室

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅，地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分

案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

定員：80名（先着順）

濾過膜を用いる分離技術は、医薬品製造分野など高付加価値製品の製造プロセス、各種産業廃水処理や水リサイクルプロセスなどの環境保全プロセス、上下水道などの水インフラへの導入へと、より高度かつ大規模なプロセスへの応用が続いている。本講習会では、膜濾過プロセスの技術課題とエンジニアリングに関する話題を第一線で活躍されている講師により解説します。

■ プログラム

1. 膜濾過プロセスの基礎知識 (10:20～11:10)

(横浜国立大学) 中村 一穂 氏

分離技術の中における膜濾過技術の位置づけや特徴、濾過膜の種類と特徴、ファウリング現象と対策、応用分野など関連する基礎知識について概説する。

2. 膜による水リサイクルプロセスとエンジニアリング (11:10～12:00)

(栗田工業(株)) 川勝 孝博氏

膜を用いた水リサイクルプロセスの適応例、技術課題、開発動向などについて解説する。

<昼食 12:00～13:00>

3. 医薬品分野における膜利用の進歩 (13:00～13:50)

(岩井ファルマテック(株)) 柚木 徹氏

医薬品製造プロセスへの膜分離技術の適応例、技術課題、開発動向などについて解説する。

4. 食品・乳業分野における膜利用の事例 (13:50～14:40)

(雪印メグミルク(株)) 伊藤 光太郎氏

食品分野における膜利用について乳業を事例に紹介する。

<休憩 14:40～15:00>

5. 浄水処理における膜ろ過システムとファウリング解析へのアプローチ (15:00~15:50)

(水 ing エンジニアリング株) 貝谷吉英 氏

浄水処理における膜ろ過技術の動向、浸漬型膜ろ過システムの適用事例、ファウリング解析へのアプローチなどについて解説する。

6. RO 膜による海水淡水化プロセスの概要、ならびに市場・技術動向 (15:50~16:40)

(三菱重工エンジニアリング株) 加藤玲朋氏

世界の海水淡水化市場動向について説明するとともに、RO 膜を使用した海水淡水化プラントのプロセス概要ならびに最近の関連技術動向について解説する。

7. Q&A (16:40~17:00)

参加費：維持・特別・正会員・協賛会員：18,000 円、会員外：28,000 円、同時入会：23,000 円
(含むテキスト代。書籍「実用固液分離技術」を贈呈いたします。) 学生：5,000 円 (※ただし、
書籍「実用固液分離技術」の贈呈はございません。) 参加費は郵便振替または下記銀行に前納にてお振込みください。

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先：参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、下記事務局まで FAX または e-mail にてお申込ください。申し込み締切日：2019 年 2 月 20 日(水)、ただし締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきますので、お早めのお申込みをお願い致します。

「膜濾過プロセスの基礎と応用」講習会参加申込書

氏 名			
勤務先			
所属			
所在地	〒 TEL _____ FAX _____ e-mail _____		
送金内訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請求書	要 ・ 不要
会員資格	(正・維持・特別会員) ・ 学生 ・ 協賛団体会員 ・ 同時入会 ・ 会員外		

※上記項目は全てご記入くださいますようお願いいたします。

〒214-0034 川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571 e-mail : jimmu@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/